

研究テーマ: 超高速ネットワーク上に構築する
e-Professional University機能に関する研究(1/2)
(プログラム番号JGN-P122521)

研究機関: 大阪府立大学, 室蘭工業大学, 大阪女子大学, (株)エム・イー・エル

研究概要:

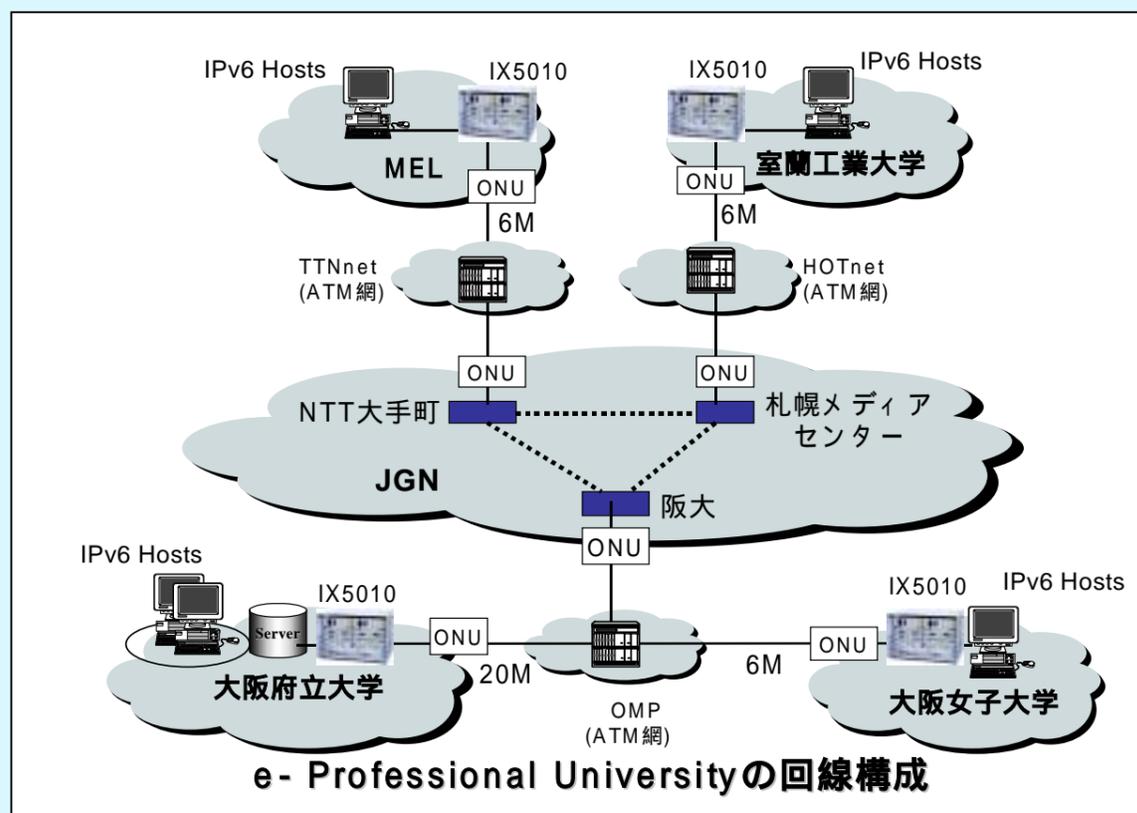
本研究では, 高速IPネットワーク上にe-Professional University(専門大学院)を構築し, 主に働きながら学ぶ社会人に高い利便性を提供する未来型遠隔教育システムを開発することが目的である. 本研究では, IPv6環境で現状のe-Learningでは不可能なインタラクティブマルチキャストによる双方向型講義やVOD(Video On Demand), IPマルチキャストによる講義配信, あるいはIPv6の持つ機能をフルに活用した個人認証, セキュリティ機能を高めた専門大学院などを研究開発した.

研究目的:

研究開発の目的は, 次のとおりである.

- IPv6によるセキュアなネットワークの構築
- 同期・非同期統合型学習環境の構築
- 経営シミュレーションによる実践型カリキュラムの開発
- 「ライブ講義(集合) + WBT(個別) + VOD + MBL」の実現
- IPマルチキャストによる講義配信など

回線構成:



研究テーマ: 超高速ネットワーク上に構築する
e-Professional University機能に関する研究(2/2)
(プログラム番号JGN-P122521)

研究機関: 大阪府立大学, 室蘭工業大学, 大阪女子大学, (株)エム・イー・エル

研究開発成果:

研究成果は次のとおりである.

IPv6 によるセキュアな高速ネットワークの構築

・IX5010 ルータ(NEC)による IPv6 ネットワークの構築と検証

臨場感ある遠隔講義環境の構築

・2画面同時並行提示の講義環境の構築と検証

同期・非同期統合環境の構築

・「遠隔講義(集合) + WBT(個別) + VOD + MBL」学習モデルの構築と検証

・VOD サーバによる学習効果の実証

ネットワーク利用の遠隔経営ビジネスゲームの学習効果

プロジェクトのアピールポイント:

「ライブ講義(集合) + WBT(個別) + VOD」という同期・非同期統合学習環境でModel Based Learning(MBL)を実践すれば, 伝統的な従来型の黒板授業よりはるかに付加価値の高い教育が実現できることを実証した.

プロジェクトの反省点:

諸般の都合でネイティブな IPv6 網による専門大学院機能が検証できなかったことが反省点である.

今後の方策:

IPv6 機能をフルに利用して, 個人認証, 伝送途中における教材の改ざん防止など, セキュアなネットワーク型専門大学院を構築することが目標である.



真剣に経営シミュレーション演習に取り組む学生